

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2013-2014 WEEKLY REPORT

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 白藤 憲雄 ■幹事 / 本多 利郎 ■会報・雑誌・広報委員長 / 安藤 修
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロン D. パートン

第1091回

2014年5月20日(火) 雨 第39回

～みんなに豊かな人生かどうか考える月間(地区)・環境保全週間(地区)～

斉唱 我等の生業
出席 会員56名(出席率算入人数47名)
出席39名 出席率82.98%
前々回補填率95.74%(4月22日分)
ゲスト 名古屋市立西部医療センター 陽子線治療センター
運営企画室長 門谷 章伸さん
大同生命保険株式会社 名古屋支社
藤野 和敬さん

会長あいさつ

会長 白藤 憲雄さん

皆さま、こんばんは。ゲストの門谷さん、大同生命の藤野さん、ようこそいらっしゃいました。門谷さん、後ほど卓話をよろしくお願ひします。任期も残り1ヶ月余りとなりました。皆さまのおかげでこれまで無事に過ごして参りました。ありがとうございます。



日曜日に、友人と日間賀島へ行ってきました。最近、テレビ等で盛んに放映されている影響で、観光客が多く、ちょっとした店が随分増えていました。以前、海で助けていただいた漁師さんに会いに行くと病気になるれており、非常に寂しい想いで帰ってきました。本日の卓話にもありますが、健康第一だと思います。健康診断や人間ドックなど定期的な受診をお願ひしまして本日の会長あいさつとします。

幹事報告

幹事 本多 利郎さん

- 6月23日に日本RC親睦ゴルフ大会が北海道であります。参加希望の方は事務局までお願ひします。
- 台北ミレニアムRCの訪問が6月の予定となっております。本日が締切り日です。まだ返事をしていない方はご連絡をお願ひします。

ニコボックス

◆本日はゲストに門谷章伸さん、藤野和敬さんをお迎へしております。門谷さんの卓話を楽しみにしております。

新原 尚さん 三浦 隆さん 木村 猛さん
田子 充浩さん 本多 利郎さん 大平 明子さん
木下 福郎さん 白坂 修二さん 安藤 修さん
加藤 英敏さん 白藤 憲雄さん 田中 一雄さん
宮崎 良一さん 細井 俊男さん 川辺 清次さん
野々村憲吾さん 佐々木 暢さん 川瀬 悟さん
中村 勝さん 児島 徳和さん 三浦 和人さん
伊藤 圭一さん 鈴木 清詞さん 吉木 邦男さん
牧野 好弘さん 浅井 浩さん 出田真太郎さん
久米 伸治さん

本日合計 29,000円 累計 1,226,000円

同好会報告

■名南RC混声合唱団 川辺 清次さん
皆さま、こんばんは。6月7日に名古屋市主催で全国大会の合唱祭が行われます。出席袋の中に整理券が入っていますのでよろしくお願ひします。これはチャリティーになっております。あしなが育英会に寄付するという事で、いつもは名古屋地区だけでしたが、今回は全国大会でもやろうとなり、多くの寄付ができるのではないかと考えています。募金箱を回しますので、どうか前回欠席の方や2回目の方でも結構ですのでよろしくお願ひ致します。

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

外部卓話

■大同生命保険株式会社 名古屋支社

藤野 和敬さん

皆さまこんばんは、大同生命の藤野と申します。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。当社では法人会様を通じて企業経営者様の保障を提供させていただいており、私の担当である名古屋北法人会様のご紹介でお邪魔させていただきました。

当社は保険にご加入いただくだけでなく、何かあった時にその治療先をご紹介できればということ

で、陽子線治療センター様と提携させていただいております。本日は名古屋市立西部医療センターの門谷運営企画室長と共に45分間ですが、お話を聞いていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

■名古屋市立西部医療センター 陽子線治療センター
運営企画室長 門谷 章伸さん

皆さま、こんばんは。陽子線治療センターから参りました、門谷と申します。どうぞよろしくお願い致します。



簡単に自己紹介をしますと、4月からこの陽子線治療センターに着任しました。その前は、瑞穂区の名古屋市総合リハビリテーションセンターにいましたが、そこでは脳血管障害の方のリハビリを中心に提供していました。特に障害者の方の就労支援に力を入れています。国は2年のリハビリ期間を置く中で、この施設は退院されてから色々な訓練をしたうえで平均約8ヶ月間で職場復帰されます。交通事故などで脳に障害があり、注意障害や遂行障害を持たれた方に対するフォローを国と認定基準を含めて、準備段階から参加して決めてきた、高次脳機能障害へのサービスも行っています。県の中で唯一の拠点施設となっています。視覚障害の方や、最近では糖尿病性網膜症等で視覚を失う方が多いのですが、市内で唯一の機能訓練も行っています。

4月から陽子線治療センターに変わり、少しでも皆さまに陽子線治療について知っていただこうと、現在このような形でセミナーを開いています。

ご存知だと思いますが、日本人の死亡原因のトップは「がん」で、2位は「心疾患・心不全」です。2012年の名古屋市のデータでは、死亡数19,680人の内5,920人が、がんで亡くなっています。全体の3分の1になります。という事でがんに対する対応が今、非常に大きな課題となっています。名古屋市では、協力施設や区の保健所でがん検診をワンコインで行っています。胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの6つがありますので、是非受けていただければと思います。

がんが死亡原因の大きな割合を占めている中で、がん治療の進歩という形で見ると、「体に優しい」というのがキーワードになります。優しいと言うと柔らかいですが、体に負担が少ないという事になります。治療法は現在大きく分けて3つです。外科療法、科学療法、放射線療法です。外科療法は一般的に一番よく使われますが、体に対する負担は大きいです。今は穴を開ける腹腔鏡手術もあり、少し体への負担が軽減されます。科学療法は抗がん剤を使用するので、イメージ的に体に対する負担が非常に大きいものです。毛が抜けたり、白血球が減少したりします。分子標的薬というがん細胞だけを攻撃し、がん細胞増殖だけに効果がある薬が出てきています。ただし、これも血圧が上がる等の副作用があると聞いています。放射線療法は、放射性物質を使うわけですが、放射線の線量としては少ないです。なかなか操作が難しいという中で、X線が生まれ、今は粒子線という形になっています。粒子線には、

陽子線と重粒子線という区分があります。私どもが行っている、陽子線は水素の原子核である陽子が数多く加速されて束になって流れている状態です。特長は、不思議な性質があり、照射口から出たら普通線量は強いのですが、初めは弱く、がん細胞の所で大きくなり、それ以降は正常な細胞は傷つけないという不思議な放射線です。重粒子線は炭素で、より重くより深く体の奥まで飛ばす事ができます。放射能は昔から生物を殺すという事は知られていました。細胞に対する影響力が非常に大きいものです。

がん細胞は増殖力は強いのですが、ダメージに対する回復力は正常な細胞に比べて弱いのです。がん細胞だけに放射線を当てる事ができればいいのですが、どうしても周りの正常な細胞にも当たる可能性が高いです。そこで、何回にも分けて当てる事で、回復力の弱いがん細胞を死滅させるのが放射線治療の原理です。放射線の影響は2つに分かれます。短い期間に大量の放射線を受けた場合に、数週間以内に症状が出る急性障害。食欲不振や嘔吐などの症状があります。もう1つは、比較的低線量の放射線を受けた場合、例えば治療中には影響は無かったが、治療後に副作用が出た等の晩期障害です。

現状ですが、スポットスキニング法とブロードビーム法があります。基本的にはブロードビーム法を使います。世界中のほとんどの陽子線治療センターはブロードビーム法を取っています。現在名古屋では国内で初めてスポットスキニング法という治療法をすすめています。陽子線を細かいペンシル状のビームに形成して、がんピンポイントで照射する技術です。これによって、非常に複雑な形状をしたがんに対して、照射したい部分だけに照射したい量だけを的確に照射することが可能になりました。陽子線は、横70m、縦45mの大きな建物の中で作られます。照射室は3つあります。放射能物質を使っているわけではなく、電気的に陽子線を作るので、電気を切れば放射能は出ません。去年の2月から運用を開始しまして、午前中のみ稼働しています。これからもっと利用できる人の数を増やしていこうとしています。

現状は1日50人位の患者さんを診ています。治療できるがんは、頭頸部腫瘍、肺がん、肝臓がん、前立腺がん、骨軟部腫瘍です。食道がんや、すい臓がん、膀胱がんの治療を行っている施設もあります。現在国内に12ヶ所の施設がありますが、白血病等に関してはどこの施設も出来ない状況です。陽子線治療の長所は、治療自体に痛みはなく、外科的手術ではないので、身体機能や形が失われる事は少ないです。また、副作用が少ない為、通院治療が可能で、1回20分程度で終わります。短所は、胃がんや大腸がんには使えず、通院は可能ですが、長期的になる場合があります。また、皮膚の弱い方ですと、赤くなったりします。

名古屋陽子線治療センターは地下1階から3階建てで、後ろには、3年前に西部医療センターが完成して、協力しながらやっています。都市型施設となっており、開所以来約300の方にご利用いただいています。栄や名古屋駅からバスが出ていて、乗り換えなしで来ることができます。申込方法は、主治医の先生からの紹介と、セカンドオピニオンの2通りがあります。治療費は2,883,000円です。名古屋市民

の方は1年以上在住していれば、20万円免除されます。また、銀行と提携していますので、利子補給の制度もあり、去年の6月には国から先進医療の認定を受ける事ができたので、先進医療制度も使えます。陽子線治療には2,883,000円掛かりますが、それに付随した検査は保険が適用されるものと、3割負担で受けることができます。がん保険で先進医療の特約を付けていれば、こちらも対象の治療になります。がんになってしまうと、治療費の3割はご自身で負担いただく事になります。その他に個室代やテレビ代等が掛かります。自営業の方ですと、即収入に影響が出ます。がんだけではないですが、病気になるれば、色々な経費が必要となります。がんの治療の選択肢を広げるという意味では、どの治療にも対応できる様に日頃から健康に気をつけてください。

また、治療方法も治療後の日常生活、社会生活をする上で、ただ取ればいいという選択肢ではなく、どんな治療法が良いかという事も考えていただきたいと思います。治療代も高く、健康もありますので、定期検診を含め日頃から常に準備をお願いしたいと思います。以上で私のセミナーを終わらせていただきます。ありがとうございました。

第 1093 回例会 (6月7日) のご案内

第 19 回全日本親睦合唱祭

於：愛知県芸術劇場コンサートホール